

福 祉 第 2 7 0 7 号
令和7年（2025）11月4日

北海道災害福祉支援ネットワーク会議構成団体事務局長 様
北海道災害派遣福祉チーム構成団体事務局長 様

北海道保健福祉部福祉局地域福祉課法人運営担当課長

「第6回 これからの災害福祉支援を考える北海道フォーラム～災害から命と暮らしを守り抜く 官民連携による被災者支援～」の案内について

日頃より、北海道が行う保健福祉行政の推進に御理解・御協力頂き厚くお礼申し上げます。

このたび、災害中間支援組織である「北の国災害サポートチーム」から、官民連携による被災者支援の構築などをテーマとした標記フォーラム開催の案内がありましたので、お知らせします。

参加を希望される場合には、下記により直接、開催団体宛てに申込をお願いします。

記

1 フォーラムの概要

（1）日時等

- ・日時 令和7年11月21日（金） 10：00～16：30
- ・会場 道民活動センタービル かでる 2.7 5階 520 研修室
（札幌市中央区北2条西7丁目）
（※ オンラインの場合は、午前のプログラムのみ参加可能）
- ・参加費 1,000 円
- ・プログラム 別添フライヤー及び開催要綱を参照願います。

（2）申込方法

下記のサイトから直接申込の上、チケットを購入願います。

<https://kitasapo-forum6.peatix.com>

（3）申込〆切 令和7年11月16日（日）

2 添付資料

- （1）第6回北海道フォーラムフライヤー
- （2）第6回-これからの災害支援を考える北海道フォーラム開催要綱

連絡先：主査（施設支援）
担 当：長多
内 線：6-210-25-618

第6回 これからの災害支援を考える北海道フォーラム

災害から命と暮らしを守り抜く

官民連携による被災者支援

この日の出会いが備えになる

災害時に発生する多様なニーズへの対応には企業・専門士業、NPO等による多様な民間支援が不可欠です。本フォーラムは民間による被災者支援のネットワーク化と行政や災害ボランティアセンターとの連携強化を目的に2020年度より毎年開催しています。

官民連携によるこれからの被災者支援の創造に向け、皆さまのご参加をお待ちしております。

と き

2025年11月21日 金
10:00~16:30

ところ

かでの 2・7
5階520研修室
札幌市中央区北2条西7丁目

参加対象

- 行政・社会福祉協議会職員
- 企業・企業組合、労働組合に所属する方
- NPO、協同組合、ボランティア団体に所属する方
- 被災者援護協力団体
- ボラサポ（事前登録審査）被災地支援NPO助成団体に所属する方
- 災害時の支援活動に関心のある方

※ 居住地域は問いません

申し込み



共 催

北の国災害サポートチーム、NPO法人北海道NPOサポートセンター、北海道災害復興支援基金（運営：認定NPO法人北海道NPOファンド）

後 援
(予定)

北海道、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）、協同組合ネット北海道

北海道の災害中間支援組織

北の国災害サポートチーム

〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74

市民活動プラザ星園 201号室

NPO法人北海道NPOサポートセンター内

✉ info@kitasapo.net ① https://kitasapo.net ☎ 070-2427-7793

WEB PAGE



開催目的

- 災害発生時には、公的機関が担う法制度に基づく支援や災害ボランティアセンターが担う生活環境を改善する支援、企業やNPOなどの特色や専門性を発揮した支援が必要とされるなか、これらを有機的に組み合わせた多様な支援の構築が求められています。
- 2025年1月より開催されてきた防災庁設置準備アドバイザー会議では、「命と暮らしを守り抜く」ことを目的に官民連携による被災者支援を行う体制づくりや災害時の初動対応のみならず生活再建や復旧・復興フェーズにおける対応を含めた中長期的視点に立った災害対応の重要性が提起されました。
- 国の防災の司令塔である防災庁は2026年度中に設置予定とされているほか、本年7月1日に施行された改正災害対策基本法においても被災者援護協力団体など官民連携による被災者支援に向けた具体的な法制度の整備も進んでいます。
- 命と暮らしを守り抜くために、官民連携による被災者支援のあり方や視点を共有し、多様な支援主体間がつながりあえる場を築くことを目的に本フォーラムを開催します。

協賛団体 募集中

以下の3つの方法で協賛いただけます

- ①協賛金10,000円
：A4版1頁の広告＋無料参加（1名まで）
- ②協賛金30,000円
：A4版1頁の広告＋無料参加（人数不問）
- ③協賛金50,000円
：ブース出展＋無料参加（人数不問）

お申し込みは事務局までご連絡ください。

参加費

来場・オンライン
ともに1,000円/人

※オンラインは午前のみ参加可能

プログラム（予定）

- 10:00- 開会
- 10:15- 基調説明①「防災庁の設置と官民連携による被災者支援のこれから」
後藤 隆昭 氏：国土交通省・北海道局総務課長
元内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）
- 10:45- 基調説明②「災害中間支援組織と災害支援ネットワークの全国的動向」
明城 徹也 氏：認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）事務局長
- 11:15- クロストーク「北海道における官民連携による被災者支援の構築に向けて」
話し手 北海道総務部危機対策局／北海道社会福祉協議会地域福祉部
／北の国災害サポートチーム
聞き手 後藤 隆昭 氏、明城 徹也 氏
- 12:30- 休憩
- 13:30- ワークショップ「つながりは備え！次の災害に備えた被災者支援の学び」
進行 北の国災害サポートチーム 篠原辰二
- 16:00- クロージング「災害から命と暮らしを守り抜くための官民連携」
- 16:30- 放課後タイム（参加者相互の意見交換、名刺交換など） ー以下任意参加ー
- 17:00- 北の国災害サポートチーム第6期定期総会（2024.10-2025.9）
・きたサポのこれまでの1年（事業報告・決算報告・監査報告）
・きたサポのこれからの1年（役員改選・事業計画・収支予算）
- 19:00- 情報交換会（事前申込制）



この事業は、「2025年度<ろうきん>働く人と子どもの明日を応援プロジェクト」の協力を得て実施いたします。

第6回 これからの災害支援を考える北海道フォーラム ～災害から命と暮らしを守り抜く 官民連携による被災者支援～

開催要綱

1. 目的

災害発生時には、公的機関が担う法制度に基づく支援や災害ボランティアセンターが担う生活環境を改善する支援、企業やNPOなどの特色や専門性を発揮した支援が必要とされるなか、これらを有機的に組み合わせた多様な支援の構築が求められています。

2025年1月より開催されてきた防災庁設置準備アドバイザー会議では、「命と暮らしを守り抜く」ことを目的に官民連携による被災者支援を行う体制づくりや災害時の初動対応のみならず生活再建や復旧・復興フェーズにおける対応を含めた中長期的視点に立った災害対応の重要性が提起されました。

国の防災の司令塔である防災庁は2026年度中に設置予定とされているほか、本年7月1日に施行された改正災害対策基本法においても被災者援護協力団体など官民連携による被災者支援に向けた具体的な法制度の整備も進んでいます。

命と暮らしを守り抜くために、官民連携による被災者支援のあり方や視点を共有し、多様な支援主体間がつながりあえる場を築くことを目的に本フォーラムを開催します。

2. 共催

北の国災害サポートチーム、NPO法人北海道NPOサポートセンター、北海道立市民活動促進センター、北海道災害復興支援基金（運営：認定NPO法人北海道NPOファンド）

3. 後援（予定）

北海道、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）、協同組合ネット北海道

4. 協力

北海道労働金庫

5. 協賛

（募集中）

前年実績：エム・ビー・エス株式会社、一般社団法人 Wellbe Design、株式会社サンアビ、コープさっぽろ、丸正石狩設備工業(有)

6. と き

2025年11月21日（金）10:00～16:30

7. と こ ろ

かでの2・7 5階520研修室（札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル）

8. 参加対象

行政・社会福祉協議会職員

企業・企業組合、労働組合に所属する方

NPO、協同組合、ボランティア団体に所属する方

被災者援護協力団体、ボラサポ（事前登録審査）被災地支援NPO助成団体に所属する方

災害時の支援活動に関心のある方 ※ 居住地域は問いません

9. プログラム

時間	内容	
10:00-10:10	開会 ・開会あいさつ（協賛・協力の御礼、趣旨説明を含めて）	ブ ー ス 展 示
10:10-10:15	場面転換	
10:15-10:45	基調説明① 「防災庁の設置と官民連携による被災者支援のこれから」 後藤 隆昭 氏：国土交通省・北海道局総務課長 ／元内閣府政策統括官（防災担当）付参事官 （普及啓発・連携担当）	
10:45-11:00	基調説明② 「災害中間支援組織と災害支援ネットワークの全国的動向」 明城 徹也 氏：認定 NPO 法人全国災害ボランティア支援団体 ネットワーク（JVOAD） 事務局長	
11:00-11:15	休憩（場面転換）	
11:15-12:30	クロストーク 「北海道における官民連携による被災者支援の構築に向けて」 話し手 北海道 北海道社会福祉協議会地域福祉部 北の国災害サポートチーム 聞き手 後藤 隆昭 氏、明城 徹也 氏	
12:30-13:30	休憩（場面転換）	
13:30-16:00	ワークショップ 「つながりは備え！次の災害に備えた被災者支援の学び」 進行 北の国災害サポートチーム 篠原辰二 コメンテーター 後藤 隆昭 氏、明城 徹也 氏 ※途中休憩をはさみます	
16:00-16:30	クロージング 「災害から命と暮らしを守り抜くための官民連携」 ※記念撮影を含めて 16:30 に終了	
16:30-17:00	放課後タイム 任意参加・参加者相互の意見交換、名刺交換、場面転換を含む	
17:00-18:30	北の国災害サポートチーム第 6 期定期総会（2024.10-2025.9） ・きたサポのこれまでの 1 年（事業報告・決算報告・監査報告） ・きたサポのこれからの 1 年（役員改選・事業計画・収支予算）	
19:00-21:00	情報交換会（任意参加・事前申込制）	

※ 進行上若干の変更が生じる場合があります。

10. 定 員

来場参加 100 名 オンライン参加 100 名（午前のプログラム限定）

11. 参 加 費

来場参加 1,000 円 オンライン参加 1,000 円（午前のプログラム限定）

12. 申込締切

2025 年 11 月 16 日（日）23:59

13. 申込方法・申込先

下記外部サイト（Peatix）よりお申し込みのうえ、チケットをご購入下さい。
サイト内での申し込みが難しい場合は、メール（info@kitasapo.net）にてご連絡ください。別途お振込み先等をご案内いたします。

<https://kitasaigai-forum6.peatix.com>



14. 協賛広告・ブース出展について

当日資料への協賛広告、パンフレット等の封入、出展を希望する企業・団体等は、事務局（info@kitasapo.net）に 2025 年 10 月 31 日（金）23:59 までに連絡ください。

協賛区分		内容	金額
協賛広告の掲載※1	A	広告 A 4 版 1 頁＋参加費無料（1 名）	10,000 円
	B	広告 A 4 版 1 頁＋参加費無料（人数制限なし）	30,000 円
ブース出展※2	C	ブース出展＋参加費（人数制限なし）	50,000 円

※1 協賛広告の掲載をいただいた場合、当日配布資料としてチラシ等を配布いただけます。配布物は開催日の前日必着でお送りいただき、オンライン参加者用にデータをご用意いたします。

※2 設営は当日 9:00～10:00 までに行ってください。

15. 留意事項

- ・ フォーラムは、災害の発生または発生のおそれがある場合や社会情勢により、中止または会場・プログラムを変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 会場には駐車スペースが限られています。なるべく公共交通機関をご利用いただくか、付近の有料駐車場をご利用ください。
- ・ オンライン参加にあたっては、以下の事項に同意したものとさせていただきますので、必ずご確認ください。
 - ① 参加には、Zoom ミーティングクライアントのインストールが必要です。
 - ② 当団体では、コンピュータの操作、インターネット接続、映像・音声等の技術的サポートやお問い合わせ、トラブルの対応はできません。
 - ③ 機器設備や通信料等、別途発生する費用については各位ご負担ください。

16. お問い合わせ先

北の国災害サポートチーム

064-0808 札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74

市民活動プラザ星園 201 号室 NPO 法人北海道 NPO サポートセンター内

E-mail : info@kitasapo.net <https://kitasapo.net/>